



SEF たより

より良き人間社会のために

編集 SEF 事務局
 連絡先 080-8865-0951
 URL <http://sef-jpn.org>

巻頭のこトバ

理事長 佐立弘臣

新年明けましておめでとうございます。

令和 2 年から目に見えない新型コロナウイルスと戦って 3 年が経過し、「マスク」、「テレワーク」、「オンライン会議」など新しい生活様式が定着し、徐々に社会活動も元に戻ってきましたが今、一番に思うことは昨年 2 月に始まったロシアによるウクライナ侵攻です。

当初は数日で終わるというロシアの思惑は外れ、ウクライナ国民の抵抗によって年を超え、今年もロシア軍のウクライナ侵攻は続きます。ウクライナの人々は勿論のこと、未来のあるロシアの若い兵士たちが犠牲になっています。世界中の多くの人々が 1 日でも早くこの戦争が終わってほしいと声を上げて戦争は終わりません。

毎日、ミサイルによって建物が破壊され、人々は逃げ、亡くなる映像が放映されます。その中でも幼い子供達が暗い防空壕に避難している映像には胸が塞がれます。78 年前の日本、私は 4 歳、米軍機が来て空襲警報のサイレンが聞こえると、防空頭巾をかぶって防空壕に逃げ込み、空襲が止むのを待つ自分自身の姿に重なります。出来ることは「皆さん、どうかご無事で」と祈るばかりで自分では何もできない無力感にさいなまれます。また映像は戦争が決して遠いものでないという厳しい現実を突きつけます。

20 世紀は「戦争の世紀」と呼ばれています。21 世紀を「続・戦争の世紀」にならないよう何をすべきか考える時ではないでしょうか。

12 月度理事会より (第 231 回 12 月 14 日)

事務局

- | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 1. インボイス制度への対応 → 可決承認 | 3. 第 21 期(2022 年度)事業成行期末予想 → 報告了承 |
| 2. 第 22 期(2023 年度)年間スケジュール → 依頼了承 | 4. 2022 年 11 月度月次会計報告 → 報告了承 |

事業報告 (業務支援事業部・G1)

担当理事 任田典平

事業支援案件の開拓活動に関して、会員の高齢化及び産業界での技術進化等により、案件開拓の壁が益々高くなってきています。このような状況への対応策として技術 1G、2G は 7 人の有志メンバーで構成する合同会議を開催して会員のスキル・技術マップの改定を進めており、また案件開拓活動の課題を整理し、理事会へ提案しました。

前者については現在登録されているマップは会員の入会当時の内容であり、実態と異なっているケース散見されました。そのため先ず技術 1G、2G の各会員へ新たに「今何が出来るか/何をしたいか」に関するスキル・技術の再調査を依頼しています。今後は事務局と協力して検索方法等を設定して会員のデータベースとして整備する計画です。

後者に関しては年齢の壁と一人では限界がある知識不足を複数のメンバーで補完し合いながら乗り越えていく考えをベースにして、実践感覚を含めた現場力の向上も併せて①課題解決に向けて複数の視点から取組むチーム体制の構築、②従来から保有しているスキル・技術分野に対して IT 活用の企画をできるようにする等の学び直しの必要性、③BIM (Building Information Modeling) 認証、洋上風力発電等新しい分野に関して、将来取り組む分野を定めてその分野の課題及び取組みに必要なスキル・技術を抽出する等の青写真を作成する 等の 7 項目を提案しており、来期活動への反映を期待しています。

SEF サロン (第 126 回案内)

担当理事 白崎善宏

《 第 126 回案内 》

日時:2023 年 1 月 26 日(木)、15 時~16 時 30 分 Zoom 方式 講師: 坂下幸司 SEF 理事 ケーズプロセス技研代表
 (今回に限り木曜日開催ですのでお気を付けください)

題目:「個人ユーザーから見た PC・スマホにおける ICT ビジネスの世界」

概要:今話題の ICT(Information and Communication Technology)のトップ企業である Apple、Microsoft、Google、Adobe のビジネスモデルを比較する。その中で OS 戦争をしている Windows(Microsoft)と Chromebook(Google)戦略の違いをアプリ、インターネットブラウザ、世界シェア等で検討し、その結果を報告する。

12 月度会員動向

事務局

会員の入退会

なし

12 月末日現在の会員数

正会員 : 23 名、準会員 : 44 名
 賛助会員 : 5 社+1 団体